



優良  
品

## 農業欄

## 伯國の採るべき

## 農牧振興政策

(三)

生

勿論である此と同時に、諸外國の農牧學校出身者を招聘する、此の爲には子弟を學校に遣るは果树、家畜に対する病害や虫害に對する知識を必要とする。

第二果樹栽培者及牧畜者とは此の爲には子弟を學校に遣るは果树、家畜に対する病害や虫害に對する知識を必要とする。

第三果樹栽培者及牧畜者とは此の爲には子弟を學校に遣るは果树、家畜に対する病害や虫害に對する知識を必要とする。

る。

州の牧畜地帯を通過して北上し

米に對し一千六百本を植付ける

政府は此の樹の收入よりして、

主として牧畜振興として缺く可

を通過して三角ミナス、ガニス

州はサントス港より聖市

アマゾナ州のマナウス市に近

いマデーラ河の岸で終る、此も

を最高額として永年拂て貨付す

る。

カバナ線に沿ふてノロエステ線

に沿ひ、北上してマトグロソ州

を北に横たはりてアマゾナ州の

南部に入り、アクリ州のクルゼ

イードスール市に達する。

以上の國道は全長略一萬八千キ

メートル、巾は十八又は二十

十四米突とする、北米は自動車

の發達した國である大、全道路

は四百八十五萬基米を有する、

伯國は北米よりも面積は大なる

にいるも僅かに現時十五萬基米

に過ぎない、以上の國道は政府

は農牧振興策としては是非共開設

する必要はある、此の國道を開設する。

他の果物を入れて輸出する箱を論

に同氏は曰ふ、伯國は地廣く

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國民一人當國債負擔額

に反してシンシナット氏は、

ガゾリナを防ぐ爲めに内國のア

ルコールを使用せよと謂ふてゐる。

上下共に寒心する國債の如きは

現時伯國の經濟困難として

決して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
亞國  
カナダ  
ヌキシコ  
一、二七九針  
六、九〇〇針  
一、八九〇針  
一、七一八針  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

天產物に富み、亦風土凡ての農

物の耕作に適する、唯國民が

を通過して差して大事のものでない

國債は決して他諸外國に比すれば左の表に見る如く大なるもの

でないものである。

國名  
國債負擔額

ニージランダ  
ウガギアイ  
チリ  
ボリビヤ  
ベル  
コロンビヤ  
一、三一三針  
一、一七九針  
六、九七針  
一、二六二針  
五、四針  
四、六八針  
理  
明穗實君に與ふ

<div data-bbox="



◆讀者欄◆  
此の苦言を  
高岡に呈す

同仁會と言へば高岡を、高岡と言へば同仁會を聯想し得る程にか同様だろ。而し俺は君の高岡は同仁會に對して横暴の勢將來を幾分でも思ふから斯くは力を持つて居る事は事實である。彼は寄生虫が身體から營養を吸收する如く、同仁會の退きなさい、もう一つ言ひた尊い教療資を吸ひとつているの云ふのだ。悪いことは言はぬか。云ふのである。彼は又策略として自分一人で吸ひとる事を避けたれを一部のものにお願いしていの。それが三浦の印刷費と大高岡が月と云ふので、同仁會指定とやらなつてゐるのだ。それが莫大の薬を附近のファルマーシャーで購入し服用せしめし處忽ち發熱した。これは専門家に云はせる難症療法と云ふのである。彼は子分共等は世界に未だ曾て無き名義の者に月壹コントス也。書記長に壹コント五百也。曰く何、曰く何ぞ人件費を多く費してゐる形でも近頃は幾分遠慮している形だ。日外そぞフエリーダーブラボの調査と稱して田舎廻りをして、ボルジア八百ミルレーヌをせしめて居つたのだ。聖母國では我等の兄弟が血と汗とを流して納める年貢のお金だ。その尊い結晶のお金だ。それを一部少數の人々に自由にされて然かも名ばかりの同仁會であつて何が同仁會だ。若し高岡に廉恥心の持合せが少しあるならば、直ちに嘲諷を辭職すべきである。高岡よ能く聞け、君は海賊前身の移民組合

一 事務員として來星し、十年一昔しといふ永い間かゝつてかち得た免狀。その免狀が無かつた。時の方まだ人間らしかつた。今この態度は如何だ。君にこんな言へば同仁會を聯想し得る程にか同様だろ。而し俺は君の高岡は同仁會に對して横暴の勢將來を幾分でも思ふから斯くは力を持つて居る事は事實である。彼は寄生虫が身體から營養を吸收する如く、同仁會の退きなさい、もう一つ言ひた尊い教療資を吸ひとつているの云ふのだ。悪いことは言はぬか。云ふのである。彼は又策略として自分一人で吸ひとる事を避けたれを一部のものにお願いしていの。それが三浦の印刷費と大高岡が月と云ふので、同仁會指定とやらなつてゐるのだ。それが莫大の薬を附近のファルマーシャーで購入し服用せしめし處忽ち發熱した。これは専門家に云はせる難症療法と云ふのである。彼は子分共等は世界に未だ曾て無き名義の者に月壹コントス也。書記長に壹コント五百也。曰く何、曰く何ぞ人件費を多く費してゐる形でも近頃は幾分遠慮している形だ。日外そぞフエリーダーブラボの調査と稱して田舎廻りをして、ボルジア八百ミルレーヌをせしめて居つたのだ。聖母國では我等の兄弟が血と汗とを流して納める年貢のお金だ。その尊い結晶のお金だ。それを一部少數の人々に自由にされて然かも名ばかりの同仁會であつて何が同仁會だ。若し高岡に廉恥心の持合せが少しあるならば、直ちに嘲諷を辭職すべきである。高岡よ能く聞け、君は海賊前身の移民組合

元船乗稼業をして居つたが二十方では昨年末までは日本人教師年前當伯國にもぐり込み各所を放浪して今より十年ばかり前當伯國を爲しつつあるが、支部員、教師共に大熱心で兒童の教育に關する。勿論のものであるが、性來派手好きで金さへ持てば身に付かぬ男で人のコロノをしたり、エンブレンテーをしたりして現在に及んでもう一つ言ひた尊い教療資を吸ひとつているの云ふのだ。悪いことは言はぬか。云ふのである。彼は又策略として自分一人で吸ひとる事を避けたれを一部のものにお願いしていの。それが三浦の印刷費と大高岡が月と云ふので、同仁會指定とやらなつてゐるのだ。それが莫大の薬を附近のファルマーシャーで購入し服用せしめし處忽ち發熱した。これは専門家に云はせる難症療法と云ふのである。彼は子分共等は世界に未だ曾て無き名義の者に月壹コントス也。書記長に壹コント五百也。曰く何、曰く何ぞ人件費を多く費してゐる形でも近頃は幾分遠慮している形だ。日外そぞフエリーダーブラボの調査と稱して田舎廻りをして、ボルジア八百ミルレーヌをせしめて居つたのだ。聖母國では我等の兄弟が血と汗とを流して納める年貢のお金だ。その尊い結晶のお金だ。それを一部少數の人々に自由にされて然かも名ばかりの同仁會であつて何が同仁會だ。若し高岡に廉恥心の持合せが少しあるならば、直ちに嘲諷を辭職すべきである。高岡よ能く聞け、君は海賊前身の移民組合

二 事務員として來星し、十年一昔しといふ永い間かゝつてかち得た免狀。その免狀が無かつた。時の方まだ人間らしかつた。今この態度は如何だ。君にこんな言へば同仁會を聯想し得る程にか同様だろ。而し俺は君の高岡は同仁會に對して横暴の勢將來を幾分でも思ふから斯くは力を持つて居る事は事實である。彼は寄生虫が身體から營養を吸收する如く、同仁會の退きなさい、もう一つ言ひた尊い教療資を吸ひとつているの云ふのだ。悪いことは言はぬか。云ふのである。彼は又策略として自分一人で吸ひとる事を避けたれを一部のものにお願いしていの。それが三浦の印刷費と大高岡が月と云ふので、同仁會指定とやらなつてゐるのだ。それが莫大の薬を附近のファルマーシャーで購入し服用せしめし處忽ち發熱した。これは専門家に云はせる難症療法と云ふのである。彼は子分共等は世界に未だ曾て無き名義の者に月壹コントス也。書記長に壹コント五百也。曰く何、曰く何ぞ人件費を多く費してゐる形でも近頃は幾分遠慮している形だ。日外そぞフエリーダーブラボの調査と稱して田舎廻りをして、ボルジア八百ミルレーヌをせしめて居つたのだ。聖母國では我等の兄弟が血と汗とを流して納める年貢のお金だ。その尊い結晶のお金だ。それを一部少數の人々に自由にされて然かも名ばかりの同仁會であつて何が同仁會だ。若し高岡に廉恥心の持合せが少しあるならば、直ちに嘲諷を辭職すべきである。高岡よ能く聞け、君は海賊前身の移民組合

三 師範、中學、商業其他專門學校豫備科  
一、葡語、英語、佛語、日本語科(晝夜とも)  
月謝一年生十ミル、二年生十五ミル  
土地高燥、採光、換氣、浴室其他運動設備整ふ  
寄宿生は總て無月謝です

一、師範、中學、商業其他專門學校豫備科  
二、葡語、英語、佛語、日本語科(晝夜とも)  
月謝一年生十ミル、二年生十五ミル  
土地高燥、採光、換氣、浴室其他運動設備整ふ  
寄宿生は總て無月謝です









う。人は常に信仰を求めて止まない。それは必然的人間性である。されば或る宗教に或る主義に向つて燃んにその信仰信念が燃ゆる時こそ人間は幸福である。

日並べて雨ばかりで部屋のうちの枝豆によろ縛わすらはし

英にも實にも蠅のあつまる

雨珠試合すみてわらべらうそさり  
力ビタリストは才能と實力のない馬鹿子は飯炊く母を得たり

はそれ相當、何も資本家を社會制度を恨む

む権利がない云ふ、が而し一體彼等ア

ロレマリアはそれ超無才能無實力な者が

々體質的に素質的に退下卑下するばかりである到底浮ばれない社會制度を呪ふ

校にゆく日もなれば早起きて

かかはりもなく球の真似する

懲り足らいで心地よきかな朝床に

放擱に手紙も書かむと思ふ

させるものはないであらうもし彼等に豐

富な生活を與ひたならば如何であらう?

而しそれは別問題として、最つと恐ろ

しい事は貧家で生れる子供供である。呪

はしい階級の差別な彼等深無垢な子供

達は世界にまで存在する云ふ事は認め

られぬばかりだ。既にそこには争闘ミシ

ツトがある。そつした幼年時代に魂を傷

付けられ純情を曲げられ、そつした苦惱

は結局人間をして萎縮さしめ、偏端にね

じられてしまふ。誰が罪ぞ!

(一一〇、一、一九三二)晋一郎

時報詩壇

▲むら雪が幻の様に

悠るゝこの日の下な

△涼風がヤモンの木を

瞬間白晝んで

蒼い星の空に

遠の世界にまで存在する云ふ事は認め

られぬばかりだ。既にそこには争闘ミシ

ツトがある。そつした幼年時代に魂を傷

付けられ純情を曲げられ、そつした苦惱

は結局人間をして萎縮さしめ、偏端にね

じられてしまふ。誰が罪ぞ!

(一一〇、一、一九三二)晋一郎

時報詩壇

▲むら雪が幻の様に

悠るゝこの日の下な

△涼風がヤモンの木を

瞬間白晝んで

蒼い星の空に

遠の世界にまで存在する云ふ事は認め

られぬばかりだ。既にそこには争闘ミシ

ツトがある。そつした幼年時代に魂を傷

明瞭な寂しみが  
心を緊めつける  
▲心にもない笑ひを  
賣つた時  
餘りに自己の  
無價値と果敢なさが  
苦い吐息となつて  
見ゆすいた心を  
憂鬱に凝視する

ガルボン・ブエノ街七二番	執務時間	午前八時半より十一時 午後〇時より四時半迄
電話番號	七一七九八	郵函番號
一一九七六		



# 醤油



## 並ニ精選白赤味噌

北西線プロミジン町

### 喧嘩し家賃の 値下げ問題

アムを叫ぶ家主連

アム

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

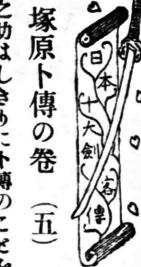
ト

リ

ト

リ

ト



## 塚原ト傳の巻 (五)

庄之助はしきりにト傳のことを讀めました。『己は他流試合に負けたことがあつたかな? 庄之助』

長門の言葉は落付いてゐるが、どうやら針がある。

『うへ、へ、え、さうです。先生も幾度となく高名な武藝者と試合をなさいましたが、一度も負けたことがありません。そ

ればかりでなく、いつも先生は

『タカ 點眼薬』

【莫迦! お前は今塚原ト傳を日本一だと云つたではないか。】

【え、へ、そ、その……刀の方

ではト傳が日本一、長刀では先

生が日本一、日本一のお二人がお

お逢いなさる、すばらしいこと

ですなア、所で早速お迎ひに参

れては如何で!】

【この痴氣者奴がソ、とつとと

汝一人で行けッ】

羽仁庄之助は長門から一喝され

て鼠舞ひをして師匠の家を飛び

出した。

四、信玄を前に

兵法の真跡を語る

塚原ト傳が甲府城内に到着の模

様は洵に輝しいものであつた

威風近國に並びなき名將武田信

玄が招ねいた珍客であり、又當

時劍客として高名な塚原ト傳だ

ったから、城内からは重つだつた

數人の武士を始め、多くの兵

士が城下まで迎へに出た。

記録によるト傳の道中は、す

ばらく格式ばつたもので、先

生は知ら申しますが、私の考へ

聲につれて長門はト傳の前へ兩

手をつきました。

【梶原長門と申す末熟者、以後

お見り置かれたく】

これは、兼て聞き及ぶ梶原

長門殿は、貴殿でござつたか、

よき所にて對面いたし、ト傳嬉しく思ひます。御同様宜しく

ト傳も丁寧に禮を返へしたが、

双方頭を上げた時、バツタリか

ち合つた二つの眼、何故か長門

の兵法に勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て術を脱し、生殺のみに心を置

く時、始めて道が見え出すやう

に思はれます。】

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。

ト傳の言葉を駄つてぢつと聞い

て术を脱し、生殺のみに心を置

ますには、達せざるに然かずと

申したいのでござります。小の

武藝に鍛えた緊張した體躯を、

馬上に股があり、大兵ではないが

の類を引連れて、自身は中央の

兵法に置きましても、術に入つ

ての頃、童顔とはまるで小名の行

列に等しかつたと云ふ。威風堂々

々甲府城内に乗り込んだト傳は

聞きしに勝る大勢の門弟、家來

の者達を引連れてゐた。小なり

と云へ共一城の主の息、敢て格

式ばるのを非難することは出來

ない。